

令和3年度

社会福祉法人 猪苗代福祉会  
事業報告書

社会福祉法人 猪苗代福祉会

- 特別養護老人ホーム いなわしろホーム
- 地域密着型特別養護老人ホーム いなわしろホーム
- いなわしろホーム 指定短期入所生活介護事業  
指定介護予防短期入所生活介護事業
- いなわしろホーム デイサービスセンター指定通所介護事業  
指定介護予防通所介護事業
- いなわしろホーム 指定訪問入浴介護事業（休止中）  
指定介護予防訪問入浴介護事業（休止中）
- いなわしろホーム 指定居宅介護支援事業
- 障害福祉サービス事業
- いなわしろホーム デイサービスセンター生活介護事業

〒969-2661 福島県耶麻郡猪苗代町大字三郷字寺南 7962 番地 1

TEL. 0242-66-4123（代）

FAX. 0242-66-4027

TEL. 0242-66-4124（デイサービスセンター、訪問入浴介護事業所）

TEL. 0242-66-4125（居宅介護支援事業所）

FAX. 0242-66-4126（居宅介護支援事業所）

# 目次

I	社会福祉法人 猪苗代福祉会事業報告.....	3
II	総務課事業報告 .....	5
III	第一事業課事業報告 .....	10
	i 生活支援領域.....	11
	ii 健康支援領域.....	18
IV	第二事業課事業報告書 .....	24
	i 在宅福祉支援領域.....	24
	ii 居宅介護支援領域.....	26
V	委員会報告.....	28

# I 社会福祉法人 猪苗代福社会事業報告

## 1. 理事会開催状況

第1回 令和3年6月7日・議案5件 報告事項1件  
第2回 令和3年6月22日・議案3件 報告事項2件  
第3回 令和3年11月18日・議案6件  
第4回 令和3年12月23日・議案1件  
第5回 令和4年2月21日・議案2件 報告事項1件(書面)  
第6回 令和4年3月24日・議案6件 (書面)  
役員会 令和3年9月9日 簡易陰圧機の選定について

## 2. 評議員開催状況

第1回 定時評議員会 令和3年6月21日・議案3件・報告事項2件  
第2回 令和3年11月22日・議案4件 報告事項2件  
第3回 令和4年2月25日 ・議案1件 報告事項1件(書面)  
第4回 令和4年3月31日 ・議案5件 (書面)  
新評議員委嘱状交付式及び感謝状伝達式 令和3年6月22日

## 3. 法人監査実施

令和3年6月2日 公認会計士立会実施  
令和3年11月8日 中間監査 //

## 4. 評議員選任解任委員会

令和3年6月9日 選任

## 5. 入所検討委員会

令和3年4月21日 令和3年6月23日  
令和3年8月25日 令和3年10月20日  
令和3年12月15日 令和4年2月25日(書面)

## 6. 運営協議会

委嘱状交付 令和3年4月16日

## 7. 地域密着型特別養護老人ホームいなわしろホーム運営推進協議会

令和3年7月21日 令和3年9月22日  
令和3年11月24日 令和4年1月19日

## 8. 苦情解決委員会

委嘱状交付 令和3年4月16日  
前年報告 令和3年5月19日(書面) 上期報告令和3年11月30日

## 9. 社会保険調査

書面 令和3年 6月 修正3件

## 10. 福島県監査・介護保険実地指導 (書面) 令和3年8月

- ・特別養護老人ホームいなわしろホーム 改善事項無
- ・地域密着型特別養護老人ホームいなわしろホーム 改善事項無
- ・いなわしろホーム短期入所 指摘事項 有
- ・ユニット型いなわしろホーム短期入所 指摘事項 無

## 11. 新型コロナウイルス感染症対策

- ・福島県高齢者施設等の従事者PCR検査 6月7.8日 105名

## 12. 国の防災訓練参加

令和3年8月25日

介護サービス情報公表システム災害時情報共有機能の訓練

## 13. 消防署立ち入り検査

令和3年11月10日 雪囲い2か所・暖簾 全館・衣類乾燥機設置届け

令和4年3月24日 消防設備現地確認

## 14. 新型コロナウイルス感染症発症 クラスタ

- ・期間 令和4年1月24日～2月23日
- ・保健所の応援 D-MAT 福島県災害時医療支援チームより派遣
- ・福島県応援職員派遣事業により看護師・介護職員の応援
- ・業者による館内消毒
- ・職員の心のケアフォロー 精神科医との面談
- ・職員のホテル利用(希望者)

上記に伴い、職員の人事評価は無

## 15. 補助事業

①福島県 ICT 導入支援事業

②福島県新型コロナウイルス感染拡大防止対策簡易陰圧装置支援事業

## 16. 職員の福利厚生 被服貸与 ・職員互助会への助成

## Ⅱ 総務課事業報告

### 一 事業計画の現況

#### ■事業報告または計画の進捗状況

項目	内容
人財の確保・育成 ・定着	新任職員研修3回（4/1、4/12、5/2） 認知症介護に関連する研修の受講 職員会の動画配信 プリセプター制度について委員会で検討中
財源の確保 ムダの削除	パンフレット作成の準備（来年度へ） ペーパーレス
事業の継続	各自業務手順書作成
ICT活用	パワーハラスメント研修にてオンライン受講 認知症介護基礎研修（eラーニングによる受講） 職員会の動画配信 長期入所者担当者会議
機関誌	春号（5月）、夏号（9月）発行、秋号（12月）、冬号（2月）
ホームページの活用	随時更新

#### ■主担当者所見

新任職員研修にて高齢者疑似体験を追加、研修や勉強会においては動画配信を活用し全職員が受講できるように行った。

来年度は感染症蔓延防止を考えながら、ボランティア活動と地域貢献につながる活動を行い、随時ホームページを更新していく。

### 二 その他

#### ■役職員研修受講状況

##### 1. 施設外研修

< 役員 >

実施月日	研修名	参加人数
4 28	一般社団法人福島県老人福祉施設協議会第6回総会	1
7 6	安全運転管理者講習	1

9	2	社会福祉法人の経営力強化～法人経営と働き方改革について（動画配信）	1
9	2	社会福祉法人の経営力強化～法人経営と働き方改革について（動画配信）	1
1	12	令和3年度福島県経営協・全国経営協との共催セミナー-SHUGO!「ポストコロナにおける法人経営」オンラインセミナー	1
3	16	猪苗代病院事業運営委員会	1

## < 職員 >

実施月日		研修名	参加人数
4	2	緊急開催！2021年改正版！特定処遇改善加算&計画書策定のポイント（動画配信）	2
6	22	介護施設における安全対策担当者養成研修（動画配信）	1
	24	自立支援型地域ケア会議	2
	29	介護施設の安全対策担当者のためのリスクマネジメント研修（動画配信）	1
	30	令和3年度福島県喀痰吸引等基本研修	1
7	5	介護施設における安全対策担当者養成研修（動画配信）	1
	16	認知症地域支援会議	1
	20	令和3年度主任介護支援専門員更新研修	1
	21	猪苗代町自立支援型地域ケア会議	2
	26	令和3年度災害・リスク対策研修（動画配信）	1
	27	認知症ポーター養成講座	1
	29	介護支援専門員勉強会	3
8	23	介護施設における安全対策担当者養成研修（動画配信）	1
	26	猪苗代町地域ケア会議	2

9	14	介護支援専門員勉強会	3
	22	猪苗代町地域ケア会議	1
	22	令和3年度介護支援専門員専門研修 I	1
	23	認知症介護基礎研修（動画配信）	1
	29	他法人が運営する居宅介護事業所との共同の事例検討会・研究会の実施に係る勉強会	6
	30	認知症介護基礎研修（動画配信）	1
10	11	令和3年度主任介護支援専門員更新研修	1
	12	第16回権利擁護・虐待防止WEBセミナー	1
	14	ほのぼのNEXT合同操作説明会 LIEF編WEBセミナー	1
	14. 15	令和2年度介護支援専門員専門研修 I	1
	15	介護事業所におけるBCP策定のポイント動画配信セミナー	5
	22	介護支援専門員勉強会	2
	26	自立支援型地域ケア会議	3
	26	令和3年度主任介護支援専門員更新研修	1
11	4. 5	福島県認知症介護実践者オンライン研修	1
	11	生活支援体制整備事業介護支援専門員研修会	2
	12	LIFE（科学的介護情報システム）の活用方法の実際WEBセミナー	1
	15	認知症地域支援会議	1
	15	認知症介護基礎研修eラーニング	1
	16	認知症サポーター養成講座	1
	24. 25	福島県認知症介護実践者オンライン研修	1
	26	自立支援型地域ケア会議	4

12	4	令和3年度医務担当職員研修会（動画配信）研修	1
	14	介護支援専門員勉強会	2
	17.20	高齢者権利擁護等推進事業 看護実務者研修	1
	18	新型コロナ感染防止対策とリスク管理のポイント「最新状況に対応！リメイク版」研修WEBセミナー	1
	22	認知症介護基礎研修eラーニング	1
	22	自立支援型地域ケア会議	2
	30	認知症介護基礎研修eラーニング	1
1	12	福島県認知症介護実践者オンライン研修（報告会）	1
	13	人生としての介護職	1
	18	介護事業所のための業務継続計画（BCP）作成セミナーWEBセミナー	1
	24	自立支援型地域ケア会議オンライン会議	1
2	16	高齢者施設新型コロナウイルス感染症のクラスター対応に係る緊急web研修会	1

## 2. 施設内研修

実施月日	研修名	内容	参加人数
4	1 新任職員研修	法人・事業概要、就業ルールと期待する職員像、労働安全衛生教育、防災教育、介護職員等の処遇改善計画について他	1
	12.13 4月職員会	令和3年度職員研修について、令和3年度処遇改善計画について、その他	78
5	12 新任職員研修	法人・事業概要、就業ルールと期待する職員像、労働安全衛生教育、防災教育、介護職員等の処遇改善計画について他	1
	4.18 新任職員研修	法人・事業概要、就業ルールと期待する職員像、労働安全衛生教育、防災教育、介護職員等の処遇改善計画について他	1
6	24.25 5月職員会	事故防止及び身体拘束廃止について、その他	36
	17 6月職員会	窒息時の対応について、令和2年度決算報告、令和2年度介護職員等処遇改善実績報告、身体拘束等適正化について、令和2年度さらり賞の表彰、その他	42

7	19	7月職員会	認知症ケア、介護現場における「権利擁護」について、その他	43
	21	ほのぼのNEXT合同操作説明会 ～LIFE編～オンライン研修	データ提出に至る迄の概要、事前準備について、 入力必須項目一覧表について他	2
8	19	8月職員会	新型コロナウイルス感染症対策、職場内研修について 参加型の人材育成研修、その他	51
9	17	9月職員会	安全対策研修の伝達、個人情報保護に関する研修	48
	24	パワーハラスメント研修	パワーハラスメントの影響、パワーハラスメントに対する法人の 対応、パワーハラスメントへの対応	43
10	13	10月職員会	シタルヘルスマスクについて、ストレッチの実施について、 その他	51
11	24	11月職員会	身体拘束廃止、事故防止について、令和3年度 中間監査報告、人権擁護・虐待防止セミナー	47
12	4, 14, 2 5, 29	岡本先生講習会	腋下介護について	
	20	12月職員会	人権擁護・虐待防止セミナーの集計について、BCP策定に ついて、猪苗代福祉会組織図について、目標管理制度 について	41
1	18	臨時職員会	新型コロナウイルス予防対策について	48
3	23	2・3月職員会	認知症ケアについて、看取りケアについて、その他	78

### 3. 資格取得支援

No	対象資格	対象者
1	認知症介護基礎研修	1名
2	認知症介護基礎研修	1名

### 4. 地域密着型運営推進会

実施月日	会議名	出席人数
5 19	第1回運営推進会議（非常事態宣言の為中止）	-
7 21	第2回運営推進会議	8
9 22	第3回運営推進会議	9

11	24	第4回運営推進会議	9
1	19	第5回運営推進会議	8

## 5. 面会状況

月	10回以上	1回以上10回未満	なし
人	0	34	46

※6月1日～窓越し面会スタート

## Ⅲ 第一事業課事業報告

### 一 事業計画の現況

#### ■事業報告または計画の進捗状況

項目	内容
科学的、個別ケアの充実	多職種連携強化、個別ケアを意識した介入、指導は行っているが不十分。感染症予防も考慮したケアを再検討中。
地域交流促進	定期的なご家族様への連絡報告は行っているが、連絡内容や頻度に関するご意見が挙げられている。最近ではコロナウイルスに関する内容の伝達が多く、連絡漏れなどの影響により不信感を持たれるご家族もいる様子。
感染症予防	各フロア看護師配置による早期対応、専門的視野拡大ゾーニング、生活環境調整、マスク、消毒の徹底を実施 不十分な点は徐々に調整中
楽しい生活空間作り	フロア内生活空間の調整、他者との関係を結ぶ職員介入 余暇時間の充実化に関しては感染症予防による制限やケアスケジュールの変更に伴い、実施が減少している。現状では実施しても一辺倒になりがちな状態である。
情報共有強化	早期伝達の促し、徹底。システム構築に関しては、各フロアへの伝達はある程度出来ているが、フロア内での伝達やフロアからの発信が不十分な場面がある様子。
業務効率化	アイパットの実用化に関しては、食堂での密の予防や居室内またはフロア廊下で過ごされる場面が多くなったことで、利用者様に画像や動画を観て余暇時間を過ごしていただくという用途で利用されることが多くなった。
家庭的で高品質のケア	クラスター時にケアレベルを下げたことと、それに伴う廃用性症候群の影響、感染症予防を考慮したケア提供により、ケア内容やケアスケジュールの調整中。

ユニットケア充実	24H シート等の作成、調整。より利用者様個々の生活リズムに合わせたケア提供はある程度継続して行なっている様子。
穏やかな生活環境提供	個々のプライバシーを考慮した環境調整、居室内、共有スペース調整に関しては、感染症予防を考慮した上で調整中。
認知症ケアの充実	認知症対応の再認識と実践。実践者研修 2 名参加。
喀痰吸引実施人員強化	介護福祉士の喀痰吸引研修参加したが実地研修に至らず
入院期間の短縮化	合併症や体力・免疫力低下により短縮化に繋がらない
ターミナルケアの充実	少しでも安楽な終末期が過ごせる対応、よりご親族様の気持ちを考慮した対応に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響にて十分に配慮できない場面がある。
施設独自の個別ケアの実施	多職種参加による個別ケアの充実化、岡本 OT による個別的ケア提供の指導はケア向上委員会を中心に実施できている。
介護員福祉士取得を推進	初任者研修や実務者講習の参加支援し 2 名資格取得

## ■主担当者所見

・コロナ禍の様々な制限がある中での事業展開を行ってきたが 1 月末にクラスター発生したことにより計画された事業がすすまず限られた状況での対応になり入所者様への安心・安全な生活を十分に提供できず収束後も十分な改善に至っていない。再びコロナ感染発症にならないように新たな業務・ケア体制となり入所者様や職員のストレスも大きい。事故につながらないように他職種との連携を密にし個別ケア充実につなげていきたい。

## i 生活支援領域

### 一 事業計画の現況

#### ■事業報告または計画の進捗状況

項 目	内 容
1、個別ケアの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスターの影響にて ADL、ケアスケジュールが変化している。現状に合わせた個別ケア対応を調整、検討中。</li> <li>・ 24H シートの随時更新実施</li> </ul>
2、職員のスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格取得の為の勉強や研修受講</li> <li>・ 岡本 OT からの知識、技術指導</li> <li>・ クラスターにより感染症予防、対応の知識取得と実動技術の習得</li> </ul>
3、職種の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護師が各フロアに配置されたことで連携がとりやすくなっており、早期対応を図っている。</li> </ul>
4、リハビリの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各フロア担当配置にて状態変化を細かく把握し、より状態に合わせた早期対応を行っている。</li> </ul>
5、ご利用者様、ご家族との信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な状況報告を実施</li> <li>・ 必要時はその都度早急に連絡するよう対応を図っている。</li> </ul>

関係の強化を図る。	
6、ユニットケアの認識と意識強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別対応をより意識し対応</li> <li>・指導職員から、実際の状況における考え方の指導を実施</li> </ul>
7、24時間シートの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24Hシートの随時更新実施</li> </ul>
8、情報の可視化、共通認識の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間のコミュニケーションを高め、情報伝達をしっかりと行うことでユニットケアの共通認識を高めている。</li> </ul>
9、外出支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により積極的な実施は出来ていない。</li> <li>・行事、給食委員会を中心に園外散策を実施。</li> </ul>
10、事故の軽減をして行く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故発生時、早急に振り返りを行い、再発防止を図っている。</li> <li>・事故振り返り時の多職種参加が定着してきており、より様々な視点での意見の収集ができています。</li> </ul>
11、研修参加の促進とユニットケアの共通知識、認識の取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により積極的な研修受講は出来ていない。</li> </ul>

### ■主担当者所見

・クラスターの発生に伴い、ケア力の低下や様々な制限が起こった。それにより、利用者様のADLが著明に変化することとなった。今まで行っていた個別ケアに関しても全体的に調整が必要な状態となった。改めてご利用者様の状態把握を行い、心身機能に応じたケア提供を図っていく必要がある。

・職員に関してもコロナウイルスへの不安や、利用者様のADLの変化、感染症予防における業務体制の変化への対応により、精神的にストレスを感じやすい状態となっている様子。利用者様に直接的に関わる業務である為、パフォーマンスの維持、向上を考えた上での業務調整や業務指示が必要と考えられる。

## 二 その他

### 1. 長期入所・短期入所実績及び前年度比較表

令和3年度				令和2年度			
月	長期入所	短期入所	計	月	長期入所	短期入所	計
4	1775+600	694	3,069	4	1750+600	596	2,946
	2,375				2,350		
5	1840+608	676	3,124	5	1779+608	643	3,030
	2,448				2,387		
6	1795+600	682	3,077	6	1734+593	614	2,941
	2,395				2,327		

7	1855+620	687	3,162	7	1794+595	704	3,093
	2,475				2,389		
8	1854+619	699	3,172	8	1793+600	694	3,087
	2,473				2,393		
9	1800+594	712	3,106	9	1721+595	669	2,985
	2,394				2,316		
10	1826+620	709	3,155	10	1819+620	661	3,100
	2,446				2,439		
11	1761+600	675	3,036	11	1685+577	674	2,936
	2,361				2,262		
12	1848+620	695	3,163	12	1668+585	709	2,962
	2,468				2,253		
1	1841+611	640	3,092	1	1757+604	709	3,070
	2,452				2,361		
2	1612+491	127	2,230	2	1585+560	669	2,814
	2,103				2,145		
3	1766+541	452	2,759	3	1730+602	730	3,062
	2,307				2,332		
合計	28,697	7,448	36,145	合計	27,954	8,072	36,026
前年比		長期入所	743	短期入所	(624)	計	119

## 2. 日常生活状況

( 広域型 )

ADL内容	食 事					移乗動作				移動手段				入浴		
	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 部 介 助	経 管 栄 養	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 部 介 助	歩 行	歩 行 器 等	車椅子		機 械 浴	パ チ エ ア イ ス ン	個 浴
												普 通 型	そ の 他			
実数(人)	0	28	10	10	9	0	14	10	32	2	4	34	16	27	15	14

( 地域密着型 )

ADL内容	食 事					移乗動作				移動手段				入浴		
	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 部 介 助	経 管 栄 養	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 部 介 助	歩 行	歩 行 器 等	車椅子		機 械 浴	バ チ エ ア イ ン ス ン	個 浴
												普 通 型	そ の 他			
実数(人)	0	9	4	6	0	0	4	7	8	2	0	13	4	4	2	13

( 広域型 )

ADL内容	日中排泄				夜間排泄				離床センサー		身体拘束	
	ト イ レ	P ト イ レ	フ オ ー レ	ベ ツ ト 上	ト イ レ	P ト イ レ	フ オ ー レ	ベ ツ ト 上	あ り	な し	あ り	な し
実数(人)	17	0	1	38	8	4	1	43	9	47	0	56

( 地域密着型 )

ADL内容	日中排泄				夜間排泄				離床センサー		身体拘束	
	ト イ レ	P ト イ レ	フ オ ー レ	ベ ツ ト 上	ト イ レ	P ト イ レ	フ オ ー レ	ベ ツ ト 上	あ り	な し	あ り	な し
実数(人)	10	0	1	8	5	0	1	13	3	16	0	19

### 3. 機能回復訓練状況

#### (1) 長期入所(広域)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	29	31	30	30	31	30	31	30	31	23	0	30	326
実人数	60	58	59	60	60	59	60	59	59	58	0	56	648
延回数	583	651	510	508	522	507	492	543	586	403	0	473	5,778

#### (2) 長期入所(地域)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	29	29	29	29	29	30	30	27	31	20	0	28	311
実人数	20	20	21	20	20	20	20	20	20	20	0	18	120
延回数	250	284	276	267	257	260	147	174	176	114	0	141	2,346

(3) 短期入所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	23	0	30	328
実人数	67	62	66	74	71	73	78	75	73	62	0	50	751
延回数	589	638	612	699	691	676	679	640	673	492	0	346	6,735

(4) レクリエーション・体操

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
集団体操 延回数	750	760	723	743	771	747	762	572	769	667	0	115	7,379

■主担当者所見

○クラスター発生時より、制限と対策にて実績は低下している。

○日常生活状況においては著変のない数値になっている箇所があるが、細かくみるとADLの低下があり、同じ介助レベルであっても必要な介助の変化や、介助量の増大がみられている。

## 4. 施設ケアプラン作成状況

広域型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
継続	8	7	11	8	20	12	7	10	12	10	15	16	136
新規	3	2	1	1	1	0	1	1	1	0	0	2	13
看取り	2	1	1	1	2	1	0	0	1	0	0	2	11
合計	13	10	13	10	23	13	8	11	14	10	15	20	160

地域密着型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
継続	3	2	6	8	5	2	3	4	3	3	5	4	48
新規	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4
看取り	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	5
合計	3	4	7	9	5	3	3	4	3	4	5	7	57

## 5. 日常生活自立度

利用者数に占める日常生活自立度ランクⅢ、Ⅳ、またはⅤの利用者数の割合（認知症専門ケア加算取得要件）

広域型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【A】利用者数（人）	61	60	60	61	61	57	60	59	59	58	55	58
【B】日常生活自立度ランクⅢ、Ⅳ、またはⅤの利用者数（人）	45	44	45	46	46	42	44	43	43	42	39	42
【B】／【A】（％）	73.8	73.3	75.0	75.40	75.4	73.7	73.3	72.9	72.9	72.4	70.9	72.4

地域密着型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【A】利用者数（人）	20	21	20	20	20	20	20	20	20	20	17	19
【B】日常生活自立度ランクⅢ、Ⅳ、またはⅤの利用者数（人）	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15	13	14
【B】／【A】（％）	80.0	76.2	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	76.5	73.7

## 6. 要介護度状況

（広域型）平均要介護度 3.96（男性 3.64 /女性 4.07）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	2	0	4	3	5	14
女	0	1	6	25	11	43
計	2	1	10	28	16	57

（地域密着型）平均要介護度 3.88（男性 4.00 /女性 3.88）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	0	1	0	1
女	0	0	5	9	3	17
計	0	0	5	10	3	18

## 7. 出身地別入所・退所状況（広域型）

市町村別	性別		令和3年度の異動状況						
	現 員			入 所			退 所		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
猪苗代町	13	37	50	2	9	11	1	13	14
会津若松市	0	2	2	0	1	1	0	1	1
北塩原村	1	1	2	0	1	1	0	0	0
磐梯町	0	3	3	0	0	0	0	0	0
合 計	14	43	57	2	11	13	1	14	15

(地域密着型)

市町村別	性別	現 員		令和3年度の異動状況						
				入 所			退 所			
	男	女	小計	男	女	合計	男	女	合計	
猪苗代町		1	17	18	0	4	4	1	5	6

## 8. 入所前状況

(広域型)

性別 \ 内訳	家庭	病院	老健	その他	計
男	3	5	4	1	13
女	16	5	18	5	44
計	19	10	22	6	57

(地域密着型)

性別 \ 内訳	家庭	病院	老健	施設	計
男	1	0	0	0	1
女	8	1	7	1	17
計	9	1	7	1	18

## 9. 退所理由

(広域型)

区別 \ 性別		男	女	計
家族引取り		0	0	0
他施設へ		0	0	0
長期入院		0	0	0
死 亡	施設内(看取)	1	10	11
	入院後	0	4	4
	自 宅	0	0	0
事業所移行		0	0	0
計		1	14	15

(地域密着型)

男	女	計
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	3	3
0	3	3
0	0	0
0	0	0
0	6	6

## 10. 利用者性別・年齢別構成

( 広域型 )

○最高齢：100歳 ○最年少：61歳 ○平均年齢：87.0歳 (男性：81.4歳/女性：88.9歳)

( 地域密着型 )

○最高齢：101歳 ○最年少：71歳 ○平均年齢：90.4歳 (男性：85歳/女性：90.8歳)

## 11. 行事報告※

### ■広域型

月		日	項 目	場 所	参 加 者
令和3年	4月	16日	園外散策(なでしこ棟)	園外	4名
	4月	17日	園外散策(ななかまど・さくら棟)	園外	4名
	4月	20日	園外散策(ななかまど・さくら棟)	園外	4名
	5月	1日	風船バレー(なでしこ棟)	ラウンジ	14名
	5月	8日	風船バレー(ななかまど・さくら棟)	ラウンジ	15名
	5月	15日	風船バレー(ななかまど・さくら棟)	ラウンジ	15名
	5月	22日	風船バレー(なでしこ棟)	ラウンジ	14名
	6月	12日	園外散策(ななかまど・さくら棟)	園外	4名

### ■地域密着型

月		日	項 目	場 所	参 加 者
令和3年	4月	15日	園外散策(あじさい棟)	園外	5名
	4月	19日	園外散策(ひまわり棟)	園外	4名
	5月	8日	風船バレー(あじさい・ひまわり棟)	ラウンジ	16名
	5月	15日	風船バレー(あじさい・ひまわり棟)	ラウンジ	13名
	6月	16日	園外散策(あじさい・ひまわり)	園外	5名
	6月	18日	園外散策(あじさい・ひまわり)	園外	4名

※施設にて企画したものを“行事”としているため、ボランティアによる訪問交流は含めていません

## ii 健康支援領域

### 一 事業計画の現況 : 看護

#### ■事業報告または計画の進捗状況

項 目	内 容
1、健康の維持管理に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月 インフルエンザ予防接種実施</li> <li>・ R4/3月 3回目コロナワクチン予防接種実施</li> <li>手洗い、マスク等の基本予防の継続</li> <li>※1/24 コロナ感染発症しクラスターへ 2/23 安全宣言</li> <li>・ 10月健康診断実施</li> <li>・ フロア担当 NS を主に毎日の全員検温継続で体調管理に努めて</li> </ul>

	いる。
2、スキルアップに努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスタにより予定していたオンライン研修受講ができなかった時もあったが可能な限りオンライン研修受講できた。</li> <li>・ DMAT の指導により感染対策（アルコール手指消毒、PEE 等）が学べた。</li> <li>・ ICT 機器や 24H シートの活用は不十分であった。</li> </ul>
3、多職種との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護士喀痰吸引修了者の実地研修なし。認定者のスキルアップもほとんどできなかった。</li> <li>・ 体調不良時や変化があった場合の Fa への連絡を多職種連携で密にとることを心掛け実施していた。クラスター時の連絡の時には Fa の様々な意見・要望もあった。</li> <li>・ 相談員と情報共有をし早期の入退院をすすめた。</li> </ul>

### ■ 主担当者所見

・ コロナ感染発症予防に取り組んできたが 1 月末に長期者 2 名発症を機に感染が広がりクラスターになってしまった。DMAT の介入により早期入院ができた他に施設内での取組についての確かな指導をして頂き約 1 か月間、死者を出すことなく乗り越えられたことは大変良かった。再び感染発症しない様に予防の徹底を図り感染拡大防止としては平時よりゾーン分けし最小限の交流としている。安全・安心な生活を提供できるようにより一層体調管理に努め研修参加等によるスキルアップ、家族との信頼関係構築を目指し取り組んでいきたい。

## 一 事業計画の現況 : 栄養

### ■ 事業報告または計画の進捗状況

項目	内容
1. 自立支援への取り組み	(1) 食事ケア (2) 経管栄養の利用者 (3) 水分ケア (4) 排泄ケア
2. 栄養ケアマネジメントの実施	(1) 栄養ケアの提供 (2) 経口摂取維持の取り組み (3) 医療機関との栄養連携強化
3. 安心・安全な食事の提供	(1) 安全な食事の提供 (2) 衛生管理 (3) 非常食等の備蓄管理
4. おいしく喜ばれる食事の提供	(1) 楽しい食事の演出 (2) 食事満足度の向上 (3) 委員会などにより多職種連携を図る (4) 情報発信
5. 食事面からの看取りケア	入所時の面談や定期の担当者会議、健康チェックや嘱託医との面談に出席しご利用者様やご家族の意向などを確認し、その意向に沿った、望む最期を迎えられるように食事面から支援していく。

### ■ 主担当者所見

1. 4 月から管理栄養士 1 名増員となり「栄養マネジメント強化加算」を算定している。
2. 管理栄養士増員により積極的にミールラウンドを行い、多職種職員との連携を密にし、ご利用者様の摂食状況を把握し、その記録を残し、より良い栄養ケアマネジメントの提

供に努めている。それにより加算につなげることができている。

3. ご利用者様の摂食嚥下状態などを把握し、口から食べることを継続できるように、経口維持加算Ⅰ・Ⅱ、経口移行加算など適切な加算を算定している。
4. なでしこ棟寮母室での勤務となり、よりご利用者様と近く、介護員の補助的役割を担うことで、今までにない介護員目線で見ることができるようになってきた。
5. 常に利用者様の行動に目を配り、食事介助のみならず、水分などのおやつ介助や、口腔ケアにも取り組み、介護員としての役割も担うようになってきている。
6. コロナ禍を受け、発想の転換を行い、ミキサー食の方の食事を工夫し備蓄品のソフトゼリーを提供するように対応した。また、配膳車のより効果的な活用方法を検討している。
7. 食事が入らなくなってきているご利用者様には、嘱託医との面談に同席し、家族の意向を確認し、その意向に沿うように、看護・介護など多職種職員連携にて対応している。
8. 嘱託医の健康チェックに同行し、摂食状況や体重など必要な情報の提供・共有に努めている。
9. 委員会活動にて行事給食委員として園外散策などの行事に参加しご利用者様との楽しい時間を共有できている。また人権擁護・虐待防止委員として、研修に参加したり文書作成のため調べたりしてより深く理解することができた。
10. ホームページの職員ブログや施設内の壁新聞により食事などの情報発信に努めている。
11. 非常食はローリングストックを取り入れ、どなたでも食べられるソフトゼリーや既製品の総菜、水分などの備蓄を確保している。使い捨て容器やラップ類も備蓄している。

## 二 その他

### 1. 病院受診状況

診療科 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
内科	3	7	5	13	8	9	13	12	8	11	0	7	96
発熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	6	1	20
外科	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
整形外科	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	5
形成外科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	2	7
消化器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
内分泌科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

循環器科	0	0	0	1	0	0	1	4	0	0	0	0	6
皮膚科	1	1	0	0	0	2	2	3	0	1	0	0	10
外傷再建外科	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	4
精神科	12	14	14	16	21	16	19	18	18	18	18	18	202
歯科	2	4	3	1	2	1	0	1	0	0	0	1	15
救急	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	5
計	19	27	25	33	34	28	38	42	29	47	24	32	378

## 2. 入院状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1	0	1	2	3	1	3	5	3	18	6	3	46
延日数	29	0	18	43	79	15	38	127	91	267	104	42	853

### ■ 受診状況について

・内科受診増加は嘱託医変更による胃瘻チューブ交換受診が増えた為で今後も変わらず継続となる。発熱外来受診は1月コロナ感染により増えたが収束後には減少し、その他はほぼ例年通りの受診結果であった。

### ■ 入院状況について

・1月にコロナ感染発症者が多数入院の為増えたが1人の入院日数としては合併症の発症もなく10日間で退院できた。その他の入院に関しては現疾患の他に既往疾患の増悪や体力・免疫力低下により30日以上長期入院になりやすい傾向がみられた。日々の体調管理と早期の異常発見に努め入院期間の短縮に繋げたい。

### ■ 感染症について

・昨年に引き続きコロナ感染を重点に対応していましたが1月末に感染発症、クラスターとなってしまう収束まで約1か月かかった。

## 3. 栄養管理状況

### (1) 食事摂取基準算定

年齢	性別	人数	熱量 (kcal)		蛋白質 (g)	
			推奨量	人数計	推奨量	人数計
50-64	男		2,200	0	60	0
	女	1	1,650	1,650	50	50
65-74	男	4	2,050	8,200	60	240
	女	3	1,550	4,650	50	150
75-	男	11	1,800	19,800	60	660
	女	56	1,400	78,400	50	2,800
合計		75		112,700		3,900
推定平均必要量				1,503		52
摂取基準				1,550		55

## (2) 月別提供料

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
熱量 (kcal)		1622	1618	1632	1609	1637	1635	1638	1626	1612	1626	-	1647	1627
蛋白質 (g)		58.9	57.8	58.2	58.3	58.1	58.1	57.6	57.4	58.1	58.0	-	57.4	58.0
脂質 (g)		42.3	42.4	42.7	41.6	43.0	42.6	43.3	42.3	41.8	42.6	-	41.2	42.3
カルシウム (mg)		606	603	602	591	617	599	592	624	598	596	-	653	607
鉄 (mg)		7.1	7.1	7.1	7.1	7.2	7.3	7.3	7.3	7.3	7.2	-	6.7	7.2
ビタミンC (mg)		75	78	74	70	70	71	75	74	77	71	-	77	74
塩分 (g)		8.4	8.5	8.7	8.5	8.3	8.4	8.6	8.3	8.4	8.4	-	7.5	8.4

## (3) 療養食ほか

項目		上期	下期
糖尿病食	1,400kcal	3	2
	1,200kcal	2	2
	1,000kcal	1	2
塩分制限食		3	3
経口維持加算		27	26
経口移行食		1	0

## (4) 摂取状況

		上期	下期
		人数	人数
主食	飯	15	16
	おにぎり	0	0
	軟飯	18	14
	全粥	25	25
	ミキサー粥	10	11
	経管	12	9
	計	80	75

副食	常食	20	17
	きざみ食	19	22
	超きざみ食	18	18
	ミキサー食	11	9
	計	68	66
提供量	常量	9	6
	ハーフ	20	19
	主食ハーフ食	11	9
	主食小盛	28	22
	主食大盛	0	1
	副食ハーフ	3	3
代替、 栄養補助食品	ヨーグルト	9	6
	ヤクルト	18	16
	とろみ調整食品	23	13
	栄養補助食品ゼリー	6	5
	栄養補助食品ドリンク	0	1

#### (5) 栄養ケアマネジメント

程度	上期		下期	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
低リスク	28	35	17	23
中リスク	43	54	34	45
高リスク	8	10	24	32

リスクの内容 (複数あり)		上期	下期
中リスク	BMI低値 (18.5未満)	17	10
	体重減少率高値 (3~5%未満/月)	2	12
	アルブミン低値 (3.6g/dl以下)	27	23
	食事摂取量不良 (75%以下)	1	1
	経管栄養食	10	9
高リスク	体重減少率高値 (5%以上/月)	0	14
	アルブミン低値 (3.0g/dl以下)	5	7
	褥瘡形成	3	5

内容		年度内のリスク変動					
		高→中	中→低	高→低	低→中	中→高	低→高
アルブミン値	改善	1	1				
	低下				3	3	
BMI	改善	1	1				
	低下				3	3	
褥瘡	治癒	1					
	形成						2
体重減少率	改善	2					
	高値				6	8	

#### IV 第二事業課事業報告書

##### i 在宅福祉支援領域

##### 一 事業計画の現況

###### ■事業報告または計画の進捗状況

項目	内容
笑顔が見られる風土の醸成	職員は利用者の要望に応えるべく努力しようとする姿勢が見られている。隙間時間を作り出来るだけ利用者と共に時間を過ごそうとする職員が増えている。何もしていない利用者は減少したが、今後も検討の余地あり
連携を強化し内容の濃いサービスを提供する	・個別ケアの検討時間が減少しているが、必要最低限の情報伝達はホワイトボード等の活用で補えている。外部への情報発信はデイサービス便りにて継続。 ・自立支援型ケア会議には毎月職員が参加している。
個別機能訓練・総合事業の実施	利用者に必要な介護量やコミュニケーションを理解している職員が少なく、過介護になってしまっている。 また、認知症や障害に対し職員全員が理解したうえで取り組みが行えているとは言えない状況である。
地域交流	新型コロナウイルス感染症の影響もあり地域交流センター・民生員・ボランティア団体などの交流が出来なかった。
質の高いサービスを継続する為の経営意識の醸成	加算に対する知識がまだまだ足りていないと感じている職員が多い。また、知っていてもどの様に現場に落とし込んでいくかわからないという職員もいる。

###### ■主担当者所見

- ・上記5項目において人事異動や離職等で新体制になった為、現状の環境を維持することが一杯で、新しいコトの創造に辿り着かない現状がある。現在の職員の育成に力を入れつつ進める必

要があると痛感している。まずは楽しい雰囲気の中で、一つ一つのサービスの意味をしっかりと捉えながら提供できる様啓発し、チーム力の向上を図るとともに新しいアイデアを生み出せるよう進めていき利用されている方が満足して頂けるよう全職員が積極的に講習会や研修等などに参加しスキルアップ努めて行く。

- ・利用者の介護度が重くなるのに伴い入院者やショートステイ利用を選択するケースが多くなり利用実績が伸びず減収となってしまった。現状のサービスで提供している有益性を維持しながらも、今後も各居宅へPRしていくことが求められる。利用者の笑顔を指標としながら、取り組みを拡大していきたい

## 二 その他

### 1. 要介護度別利用実績

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	7	6	6	5	4	6	5	6	7	7	0	6	65
	小計	7	6	6	5	4	6	5	6	7	7	0	6	65
要支援2	男	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	0	2	21
	女	4	5	4	4	3	5	4	4	4	3	0	2	42
	小計	6	7	6	6	5	7	5	6	6	5	0	4	63
要介護1	男	4	4	5	5	5	4	4	4	4	3	0	2	44
	女	15	15	18	18	18	19	19	22	19	16	0	15	194
	小計	19	19	23	23	23	23	23	26	23	19	0	17	238
要介護2	男	1	1	1	2	3	3	3	3	3	2	0	2	24
	女	22	23	23	22	20	18	20	19	17	17	0	15	216
	小計	23	24	24	24	23	21	23	22	20	19	0	17	240
要介護3	男	1	3	3	2	2	2	2	2	1	1	0	1	20
	女	15	13	13	13	14	15	14	14	15	14	0	8	148
	小計	16	16	16	15	16	17	16	16	16	15	0	9	168
要介護4	男	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	0	1	14
	女	2	2	1	1	3	3	3	4	3	2	0	2	26
	小計	3	3	2	2	5	4	4	5	5	4	0	3	40
要介護5	男	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	小計	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	7

障害	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11
合計	男	11	13	14	14	16	14	12	13	13	11	0	9	140
	女	66	65	66	64	63	67	66	70	66	60	0	50	703
	小計	77	78	80	78	79	81	78	83	79	71	0	59	843
利用者 延人数	男	82	96	91	101	95	88	91	89	96	60	0	68	957
	女	438	410	424	448	404	430	426	421	435	399	0	241	4476
	合計	520	506	515	549	499	518	517	510	531	459	0	309	5433

新型コロナワクチン接種の為キャンセルや接種後に体調不調で当日キャンセルもあり5～6月と実績が伸びず。7月に回復するも8月から猪苗代町でも新型コロナウィルス感染者が急増したことにより、ご利用を控える方や入院者の増加で低迷。新規も毎月2～3名あるが毎日の利用人数が伸びず。新規利用者の獲得についても、各居宅へPRしているが、新規案件自体が少ないとのこと。

利用されている方の満足して頂けるよう積極的に講習会や研修・地域ケア会議等などに参加し職員のスキルアップに努めてきた。

1月末にコロナ感染症対策していましたが施設内でクラスターが発生し1月下旬～2月が休業。3月～再利用者人数を15人に絞り再開。実績が低下してしまった。

## ii 居宅介護支援領域

### 一 事業計画の現況

項目	内容
1. 本人・家族との信頼関係の構築に努める。	サービス内容等についてわかりやすく説明することを心掛け信頼関係が築けるようにしている。
2. 在宅で自立した生活を送れるように支援する。	町の自立支援型地域ケア会議に事例提供し、多職種からの意見をもらい、ケアプランに生かす取り組みをしている。 家族の介護力によっては小規模多機能型居宅やグループホーム等と連携を取りながら在宅生活が継続できるように支援している。
3. 行政や医療機関との連携を密にし、サービス事業者と連絡調整を行う。	入退院時の医療機関との連携は退院時調整ルールを活用により円滑に進められるようになっているが、上期は新型コロナウイルス感染症対策で面会が制限されている医療機関が多く、退院後にサービス調整が必要な場合もあった。下期はオンラインや限定的ではあるが面会を可能とする医療機関もあり調整しやすくなってきている。 1月下旬から3月までは町内のコロナ感染状況に応じて対面を控え、書面、電話等で行うなどしてサービス事業所との連絡調

	整を行った。
4. 特定事業所を維持する。	部内会議、包括の勉強会、自立支援型地域ケア会議等によりインフォーマル（社会資源）や保健医療、福祉に関する諸制度などの理解を深め処遇困難なケースに対応できるよう、ケアマネジメントに関する技術のスキルアップに努めている。 他法人事業所との共同勉強会として成年後見制度の研修を受講した。 下期に予定していた共同勉強会はコロナ感染拡大を受けて実施を見送った。

### ■主担当者所見

昨年同様、重介護度の利用者については、在宅生活の継続が難しく、家族が施設入所を選択するケースが多い。入院をきっかけに老人保健施設等の施設入所を選択されるケースも増加傾向にある。年度当初は新規申請や更新申請にて要介護に移行する利用者があり相談件数が伸びつつあったが、夏以降伸び悩み、維持となっている。1月～3月はコロナ感染症関連で一時休業したサービス事業所等があり、代替サービスの調整等で業務量が増えた。

## 二 その他

### 1. 要介護認定訪問調査実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	10	11	10	10	7	12	11	10	10	5	7	8	111

### 2. 居宅サービス計画作成実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	129	128	130	139	136	135	135	130	130	126	117	119	1,554

### 3. 計画作成依頼登録数

性別		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男 性	継続		33	29	33	37	39	40	41	39	39	39	38	40	447
	新規		0	4	5	2	2	1	1	0	1	0	3	1	20
	終結		4	0	1	0	1	0	3	0	1	1	1	0	12
	小計		29	33	37	39	40	41	39	39	39	38	40	41	455
女 性	継続		127	125	124	125	127	127	127	124	123	126	128	126	1,509
	新規		3	2	4	4	3	2	2	0	3	3	1	3	30
	終結		5	3	3	2	3	2	5	1	0	1	3	5	33
	小計		125	124	125	127	127	127	124	123	126	128	126	124	1,506
合 計			154	157	162	166	167	168	163	162	165	166	166	165	1,961

## V 委員会報告

### 一 苦情解決委員会

#### ■委員会

開催日	要点
第1回令和3年4月1日	<p>■ご意見箱1件 第二事業課</p> <p>○内容 チェック用紙 1人良い 1人悪い 礼儀がない ケアが荒い</p> <p>○対応 職員周知 ケアに気を付けて対応 ビジネスマナー向上研修参加を検討</p> <p>■苦情報告後の経過報告</p> <p>①内容 外出出来ないことへのご意見 対応 コロナ禍であること、施設方針を 説明し了解を得る</p> <p>②内容 町外受診、入退院時のご家族様対応へのご意見 対応 3月の定期便にて書面での返答説明実施</p> <p>■今年度計画、業務分担</p> <p>■スローガン立案</p> <p>■委員長、副委員長選出</p>
第2回令和3年5月6日	<p>■ご意見箱0件</p> <p>■苦情受付1件 第一事業課</p> <p>○内容 SS利用者様帰宅要求時のケアマネへの 連絡内容についての苦情</p> <p>○対応 地域ケア会議に参加し対応検討</p> <p>■スローガンの決定、業務担当決定</p>
第3回令和3年5月	<p>■コロナ禍により定期報告会の中止を決定</p> <p>■前年度報告を書面にて第三者委員へ報告</p>
第4回令和3年6月1日	<p>■ご意見箱0件</p> <p>■苦情受付1件 第二事業課</p> <p>○内容 DSのトイレ故障期間が長いことへの苦情</p> <p>○対応 老朽化により直ぐに修理は難しい為 パーテーション等で対応</p>
第5回令和3年7月1日	<p>■ご意見箱0件</p> <p>■苦情報告後の経過報告</p> <p>○内容 DSのトイレ故障期間が長いことへの苦情</p> <p>○対応 修理完了</p>

第 6 回令和 3 年 8 月 2 日	■ご意見箱 0 件
第 7 回令和 3 年 9 月 1 日	<p>■ご意見箱 1 件 第二事業課</p> <p>○内容 DS 女性職員の雰囲気が悪い</p> <p>○対応 フロア内で話し合いを実施 オンライン接遇研修受講 改善目標期間を設定 経過管理</p> <p>■苦情受付 1 件 総務課</p> <p>○内容 電話対応が悪い</p> <p>○対応 対応の仕方を勉強する 担当者会議に出席し家族状況の把握を行う</p>
第 8 回令和 3 年 9 月 17 日	<p>■町役場の保健福祉課苦情受付 1 件</p> <p>○内容 家庭内での出来事に関する情報が外部に漏れているのではないか</p> <p>○対応 内部調査実施 職員聴取を行い、事実確認を実施 聴取の結果、情報漏洩はないと町役場に報告</p>
第 9 回令和 3 年 10 月 1 日	<p>■ご意見箱 0 件</p> <p>■苦情報告後の経過報告</p> <p>①内容 DS 女性職員の雰囲気が悪い</p> <p>対応 雰囲気が悪くなっている原因をふまえ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私語をなくす</li> <li>・ 情報共有を密に行う</li> <li>・ あるがとうの言葉を伝える を実施</li> </ul> <p>状況評価を行い、まだ不十分である為経過観察継続とする</p> <p>②内容 電話対応が悪い</p> <p>対応 ロールプレイングを実施予定 電話対応マニュアル作成</p>

<p>第 10 回令和 3 年 11 月 1 日</p>	<p>■ご意見箱 0 件          ■苦情受付 1 件 第一事業課          ○内容 不適切な排泄介助が行われていることがある          ○対応 時間にとられ過ぎない為にも、業務内容や1日の人員配置の調整を行い、適切なケア提供を図る</p> <p>■苦情報告後の経過報告          ①内容 DS 女性職員の雰囲気が悪い          対応 普段の業務では取り決めた事がある程度守れているが、不十分な場面あり経過観察継続          第二事業課課長のラウンドを増やす          ②内容 電話対応が悪い          対応 マニュアルが完成次第、内部研修を実施予定          電話の際、すぐに対応できない場合は折り返し連絡するよう対応している          ③内容 家庭内での出来事に関する情報が外部に漏れているのではないかと          対応 役場よりご家族に説明するが納得されず。期間が経過している為、終わりにすると申し出あり</p>
<p>第 11 回令和 3 年 11 月 30 日</p>	<p>■令和 3 年度上期定期報告会</p>
<p>第 12 回令和 3 年 12 月 1 日</p>	<p>■ご意見箱 0 件          ■苦情報告後の経過報告          ①内容 DS 女性職員の雰囲気が悪い          対応 取り決めを守れている          経過観察継続          ②内容 電話対応が悪い          対応 マニュアルから抜粋した内容を電話の近くに置く</p>
<p>第 13 回令和 4 年 1 月 4 日</p>	<p>■ご意見箱 0 件          ■苦情報告後の経過報告          ①内容 DS 女性職員の雰囲気が悪い          対応 取り決めを守れている          経過観察継続          ②内容 電話対応が悪い          対応 簡易マニュアル作成 各フロアに配布          ③内容 不適切な排泄介助が行われていることがある</p>

	<p>ある</p> <p>対応 人権擁護・虐待防止セミナー研修の復命書における改善提案をまとめる。改善に向けて人権擁護虐待防止委員会と協力していく</p> <p>④内容 ショートステイ送迎時、利用者に対して馴れ馴れしいのではないか。 施設内で他利用者にも同じような言葉遣いや対応をしているのか。</p> <p>対応 話しかけ方や対応の仕方等の研修会を予定。研修委員会に協力要請する</p> <p>⑤内容 電話連絡の取り次ぎ時、何分も待たせることとなり、苦情受付となる。</p> <p>対応 電話の操作方法がわからない職員がいるため、操作マニュアルを配布。 状況によっては総務課にて内容確認し、取り次ぎによる時間を解消する</p>
<p>第 14 回令和 4 年 3 月 1 日</p>	<p>■ご意見箱 0 件</p> <p>■苦情報告後の経過報告</p> <p>①内容 DS 女性職員の雰囲気が悪い 対応 雰囲気が改善している。観察終了</p> <p>②内容 電話対応が悪い 対応 内部研修は来年度に引き継ぐ</p> <p>③内容 不適切な排泄介助が行われていることがある 対応 人権擁護、虐待防止委員会に引き継ぐ</p> <p>④内容 ショートステイ送迎時、利用者に対して馴れ馴れしいのではないか。 施設内で他利用者にも同じような言葉遣いや対応をしているのか。 対応 内部研修は来年度に引き継ぐ</p> <p>⑤内容 電話連絡の取り次ぎ時、何分も待たせることとなり、苦情受付となる。 対応 時間経過にて折り返すよう対応中</p>

■委員長所見

不適切なケアや利用者、家族との対応の仕方に関するご意見がみられている。コロナ禍により第三者の目が入りにくい、外部との接触が少ない状態となり、閉鎖的空間での業務となっていたことで、職員主体且つ対応のメリハリが不十分になりがちであったと考えられる。ご意見に対する対応が適切でケアに落とし込んでいるかをみるため、継続的な状況評価を行い、再発防止が出来ている対応が数件みられている。今年度では対応しきれなかった件に関しても数件残っている為、来年度に引き継ぎ、継続した対応が必要と考えられる。

## 二 ケア向上委員会

開催日	要点
R 3. 4. 3	委員長選出。 年間活動計画の決定。
R 3. 5. 29	利用者ケース検討 トイレ誘導の仕方・移乗動作 座位姿勢の保持の仕方
R 3. 6. 26	利用者ケース検討 移乗動作・体交枕の入れ方 温熱マッサージ・新規入所者の評価 職員の為のストレスケア勉強会
R 3. 7. 24	利用者ケース検討 車椅子利用時の座面除圧・トイレ誘導の仕方 24H シートの使い方 ケア基準書の見直し
R 3. 8. 28	利用者のケース検討 ボール/ビニルクッションの作成・使い方 カットアウトテーブルの使い方 24H シート利用者選出 ケア基準書の見直し
R 3. 9. 25	利用者ケース検討 新規入所者の評価 24H シートチェック表の作成 ケア基準書の見直し
R 3. 10. 30	利用者のケース検討 2人介助のトイレ誘導・車椅子座位のクッションの当て方 24Hチェックシートの入力 ケア基準書の見直し
R 3. 11. 27	利用者のケース検討 車椅子座位のクッションの当て方・体交枕の当て方 24Hチェックシートの入力 ケア基準書の見直し
R 3. 12. 26	利用者のケース検討 車椅子利用者のトイレ介助 24Hチェックシートの入力 ケア基準書の見直し
R 4. 1月・2月	コロナ感染拡大のため実施できず

R 4 . 3 . 2 0	ケア基準書の編集 1年間の反省 来年度の検討事項
---------------	--------------------------------

■委員長所見（上期）

岡本先生の指導の下、レクリエーションの実施や利用者のケース検討を委員会のメンバー中心に行うことができた。これからも継続してケアの改善に努めていきたい。

下期は24Hシートを活用し、利用者の個別ケアに生かせるよう検討していく。

■委員長所見（下期）

コロナ感染拡大のため思うように委員会活動が出来ずに終わった。

ケア基準書は膨大な量のため各委員会に協力して頂き良かった。担当部分だけでも見直しをしたことで基本に戻ることが出来たと思う。24Hチェックシートを数名の利用者対象で作成してみたが入力に予想以上の手間がかかりこれを業務に落とし込むには何らかの改善が必要と感じた。来年度も引き続き検討し個別ケアに生かしていきたい。

### 三 BCP策定・未来プラン委員会

開催日	要点
令和3年4月9日	①委員長・副委員長選出 ②年間計画について
令和3年5月14日	①スケジュール確認 ②未来プラン関係について
令和3年6月22日	①スケジュール確認 ②洗い出した情報の整理
令和3年7月27日	①12月職員会について ②研修報告「災害・リスク対策研修会」 ③初動マニュアルからの落とし込み
令和3年8月30日	①落とし込み作業の続き ②職員会について
令和3年10月22日	①研修報告 ②職員会について ③上期事業報告
令和3年11月25日	①職員会について ②BCPの骨格について
令和3年12月17日	①職員会について ②BCPの骨格について ③ケア基準書の更新について

令和4年1月14日	①フローチャート作成について ②ケア基準書の更新について
令和4年3月25日	①フローチャート作成について ②次年度へ向けて

#### ■委員長所見

2021年度介護報酬改定によるBCP（業務継続計画）策定・研修・訓練の3年間の経過措置の1年目にあたる今年度は研修の受講、資料の読み込みによる情報収集をメインとした。次年度は「感染症（新型コロナウイルス感染症）BCP」と「自然災害BCP」を策定し、訓練を実施する。

#### 四 リスクマネジメント（身体拘束等適正化対策検討）委員会

開催日	要点
R3.4.29	委員長選出 毎月の禁止ワード
R3.5.11	事故報告の検討 毎月の禁止ワード ヒヤリハットと事故区分の見直し
R3.6.16	ヒヤリハット、事故、重大事故の区分について 身体拘束等適正化検討・身体拘束廃止未実施減算 毎月の禁止ワード
R3.7.21	ヒヤリハット、事故、重大事故の区分 身体拘束等適正化検討、アンケート調査集計 介護施設における安全対策担当者養成研修報告 3ヶ月ごとの事故報告集計・毎月の禁止ワード
R3.8.18	ヒヤリハット報告書の簡潔化 毎月の禁止ワード 事故報告書の記入確認
R3.9.15	身体拘束等適正化検討 毎月の禁止ワード ヒヤリハット報告書の活用方法 職員会発表書類の確認
R3.10.20	ヒヤリハット報告書まとめ 毎月の禁止ワード 安全対策研修 事故報告書、ヒヤリハット報告書の区分

R3. 11. 17	11月職員会発表書類確認(身体拘束、事故防止) 毎月の禁止ワード 事故報告書、ヒヤリハット報告書の区分検討
R3. 12. 15	緊急時対応マニュアル 第一事業課、第二事業課のマニュアル 事故発生時の報告の流れ 毎月の禁止ワード
R4. 1月 2月	コロナ感染拡大のため実施できず。
R4. 3. 17	身体拘束等適正化について(言葉の強弱) 毎月の禁止ワード 事故振り返りについて

#### ■委員長所見

ヒヤリハット報告書、事故報告書の区分を委員会で検討、見直しを行いました。  
介護事故を起こさないために、多職種協働において事故を予測し、組織的に事故予防に取り組んできました。事故が発生した場合は迅速に対応し、検証、再発防止のための方策を検討、実施し、具体的な方策を示していきたい。

## 五 安全衛生(腰痛予防)委員会

開催日	要点
R3/4/16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長選出</li> <li>・健康診断について</li> <li>・メンタルヘルスケアについて</li> <li>・ラジオ体操の放送について</li> </ul> ※当番制でローテーションとする
5/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断について</li> </ul> ※業者が変更となる為内容の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・問診票の配布</li> <li>・ラジオ体操の参加率について</li> </ul>
6/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症対策について</li> </ul> ※当番制で行いローテーションします <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルヘルスケア研修について</li> </ul> ※10月の職員会にて発表する内容を検討

7/13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働条件等に関する自主点検について</li> <li>・メンタルヘルスケア研修の内容を検討</li> </ul>
8/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深夜健診実施について（11/30 予定）</li> <li>※腰痛検査（診察のみ）、ストレスチェックも実施</li> <li>・メンタルヘルスケア研修の内容決定</li> <li>※笑顔のトレーニング法を実践</li> </ul>
9/28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のインフルエンザ予防接種について</li> <li>※浅見クリニックへ行き接種。日程は未定</li> <li>・深夜健診の内容を確認</li> <li>・職員会日時決定：10/13 発表</li> </ul>
10/26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒危険個所のピックアップ</li> <li>・職員インフルエンザ予防接種について</li> <li>※浅見クリニックでワクチンの確保が難しく小川医院にて接種。11/9 ホームにDr かおる来所し接種して頂く。</li> <li>・職員会発表（メンタルヘルスケア）</li> </ul>
11/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員深夜健診問診票配布</li> <li>※11/30 実施</li> <li>・ストレスチェックについて</li> <li>・10月職員会の反省</li> </ul>
12/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月深夜健診の結果について（1/11以降に届く）</li> <li>・ストレスチェックの結果を配布</li> <li>・次年度の健康診断について（4/22 予定）</li> <li>・ケア基準書の見直しについて</li> </ul>
1/21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深夜・腰痛検査の結果配布</li> <li>※所見ありが多数あり。今後の検討事項</li> <li>・ケア基準書の見直し</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内コロナ感染発生の為実施できず</li> </ul>
3/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度職員健診について（4/22 予定）</li> <li>・ケア基準書見直し終了。メンバーへ配布。</li> </ul>

#### ■委員長所見

上期は水分補給やラジオ体操の放送を当番制で行い1カ月ごとのローションとし、職員の協力を得て実施できました。今後も引き続きお願いしていきたく思います。

ラジオ体操に関して、腰痛を訴え休む職員や診断書を提出する職員がここ2～3年減っている。デイサービス独自の時間を確立。参加率も上がっている為、いい傾向と考える。

下期には職員会でメンタルヘルスケアについて実践を交え発表を行うが、実際に行っている職員はどれ程いるのか、役に立つ情報を提供できたのかは疑問。施設内でコロナウイルス感染が発生し、その対応時は多くの職員がストレスを感じていたと思うが…。委員会も開催できず、フォローができていなかったと反省。今後も引き続き、職員のメンタルヘルスケアについて取り組んで欲しい。

腰痛で仕事を休む職員が減ったと思ったが、11月の腰痛検査では【所見あり】が多かった。適切な診断だったのか…疑問は残るが、腰痛予防にも努めて頂きたい。

次年度は転倒防止対策等もしっかりと行っていければと思います。

## 六 予防医療（感染症対策・喀痰吸引）委員会

開催日	要点
令和3年10月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染対策について アンケート結果、看取り面会について 長期入所者外出の件、期限間近抗原キットについて</li> <li>・介護福祉士喀痰吸引について…実施なし</li> <li>・褥瘡治療者…17名</li> </ul>
令和3年11月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染予防対策について 冬期間面会、抗原検査キット使用手順書作成</li> <li>・床暖房開始…加湿開始</li> <li>・介護福祉士喀痰吸引…実施なし</li> <li>・褥瘡治療者…6名</li> </ul>
令和3年12月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染対策について 換気、面会 抗原検査キットは有症状者に使用</li> <li>・介護福祉士喀痰吸引…実施なし</li> <li>・褥瘡治療者…2名</li> <li>・1月勉強会について</li> </ul>
令和3年12月24日	<p>(臨時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会津若松市コロナ感染増加による対応について</li> </ul>
令和4年1月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染対策について…面会等</li> <li>・介護福祉士喀痰吸引…実施なし</li> <li>・褥瘡治療者…5名</li> <li>・1/18勉強会について（担当者、打合せ日時等）</li> <li>・3回目コロナワクチン→浅見クリニックで実施 NS…1月末、職員・入所者…2月予定</li> </ul>

令和4年1月18日	・職員会での勉強会（12：50、16：00） 「抗原検査キット使用法について」
令和4年1月20日	（臨時） ・町内小学校2名コロナ発症、今後の対応について
令和4年2月22日	（臨時） ・クラスター収束後の対応について 2/22 PCR検査全員陰性 2/23 安全宣言 3/1 DS/SS事業再開始
令和4年2月25日	（臨時） ・2/22委員会での課題検討
令和4年3月8日	・DS職員1名 コロナ感染（+） DS、SS対応 N95マスク 検温 換気等

#### ■委員長所見

コロナ感染予防を重点に行ってきたが1月末に施設入所者2名発症しオミクロン株の為に一気に感染が広がってクラスターとなってしまった。DMATの応援体制もありほぼ入院対応ができた。介護度が高い為入院せず過ごされた方もいたがその対応においても指導をしっかりと頂き死者を出すことなく乗り切れたことは良かった。感染対策として正しいアルコール消毒、ガウンテクニックについても誰もがわかるポスター掲示等で実践できた。施設構造に合わせたゾーン分けの考え方や物品備蓄の重要性も再度認識できた。コロナ感染の脅威は今後も続く為持ち込まないを主に日々の感染対策の徹底を図っていく。

## 七 行事・給食委員会

開催日	要点
令和3年4月12日（月）	① 委員長選出 ② 4月の園外散策：各フロアで行う 今年度の行事について ③ 給食関係：希望食、ノロウイルス、ホーム喫茶

令和3年5月18日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 4月園外散策、5月レク（風船バレー）反省</li> <li>② 6月の行事について：運動会を園外散策に</li> <li>③ 食器に嘔吐された時の対応について</li> <li>④ その他（非常食、保存水の確認）</li> </ul>
令和3年6月22日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 6月ドライブ園外散策について</li> <li>② 今後の行事について 七夕：人工の笹竹購入 夏まつり：開催は難しい</li> <li>③ 8月の園外散策について</li> <li>④ 食器の購入について</li> </ul>
令和3年7月20日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 7月七夕の反省</li> <li>② 8月の園外散策について（アイスクリーム喫食）</li> <li>③ 9月の行事について（秋まつり、ホーム敬老会）</li> <li>④ 食器の購入について</li> <li>⑤ その他（10月の園外散策、冬期間の対応）</li> </ul>
令和3年8月17日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 8月の行事の反省（園外散策→レクレーション）</li> <li>② 9月の行事について（秋まつり、ホーム敬老会）</li> <li>③ 10月の行事について（紅葉狩りドライブ）</li> <li>④ その他（シリコンスプーンの購入、食器の購入）</li> </ul>
令和3年9月21日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ホーム敬老会について（各フロアでレク行う。プレゼントはケーキ（希望を聞き取る）。長者番付表作成）</li> <li>② 10月の行事について（紅葉狩りドライブ）</li> <li>③ その他（スプーンの購入・使用、誕生日プレゼント検討依頼あり）</li> </ul>
令和3年10月19日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ホーム敬老会、園外散策の反省</li> <li>② 11月の行事について（ゲーム大会）</li> <li>③ クリスマス・もちつき会について</li> <li>④ その他</li> </ul>
令和3年11月16日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 10月園外散策、11月レクレーションの反省</li> <li>② クリスマス会について（プレゼントはケーキ。ホームからの誕生日プレゼントも渡す）</li> <li>③ R4、1月の行事について</li> <li>④ その他</li> </ul>
令和3年12月21日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① クリスマス会の反省</li> <li>② R4.1・2月の行事について</li> <li>③ 2月職員会担当について</li> <li>④ ケア基準書 ⑤その他</li> </ul>

令和4年1月18日（火）	① R4.1月の行事の反省 ② R4.2・3月の行事について ③ 2月職員会担当について ④ ケア基準書「食事」P39～50 ⑤その他
令和4年3月15日（火）	① R4.2・3月の行事の反省 ② R4.4月の行事について（花見） ③ デイサービスのおやつについて ④ その他

### ■委員長所見

- 行事や委員会の日程を年間計画で立て、各委員が意欲的に取り組めた。
- コロナ禍で大きな行事開催が難しいので、ドライブ園外散策や風船バレー・じゃんけん大会などのレクを開催し、楽しみを増やすことができた。
- 七夕に関しては人工の笹竹を購入してもらい、有効に効率的に行うことができた。
- 食器の購入については委託業者と各委員とで話し合いサンプルを取り寄せ対応することができた（フリーカップと飯茶碗（中が朱色で認識しやすい物）を購入）。
- ホーム敬老会は各フロアで各委員が工夫し歌を歌ったり楽しい時間を過ごすことができた。プレゼントは早めに検討しケーキに決め、利用者様の希望を聞き取り、より楽しみが増えるよう対応できた。
- 紅葉狩りの園外散策に関しては、利用者様の受診などと重なり難しい所もあった。
- クリスマス会も施設内各フロアで行うことになり、足りないツリーを購入した。歌を歌ったり楽しい時間を過ごすことができた。
- ホームからの誕生日プレゼントもクリスマス会で渡すことになり、各委員から意見を出し「エコバック」とした。各委員が「柄」を選んだが、購入数が多く、そろわないフロアなどがあったが事務所でも対応してもらいそれぞれ希望の物を購入できた。来年以降のプレゼントについても「ミニブーケ」が良いのではと提案できた。
- だんごさしも各フロアで楽しく行えた。歳之神に関しては、消防署などへの連絡を行うことが抜けてしまった。来年度以降は徹底する。
- 豆まきやひな祭りはコロナウイルス感染のため行えなかったが、食事は行事食で対応できた。
- 次年度の行事となる4月の花見についても検討し対応できてよかったが、発議書は提出していたが報告がなかったと指摘を受けた。次年度は徹底した方が良い。
- 今年度委員会が再編され、行事と給食が一緒になり、検討内容が豊富になってしまったが、各委員意欲的に責任を持って取り組むことができ良かった。

## 八 教育・研修委員会

実施月	実施計画
令和3年4月26日	①委員長・副委員長選出 ②年間計画について

	③重点事業について
令和3年5月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各資格取得に関する情報についてまとめる。</li> <li>② 新人職員の必要な技術項目作成日程について。</li> <li>③ 7月職員会の内容について</li> <li>④ 年間計画について確認</li> <li>⑤ その他（いなけんの開催方法について検討）</li> </ul>
令和3年7月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各資格取得に関する情報についてまとめる。 （進捗状況確認）</li> <li>② 新人職員の必要な技術項目の検討</li> <li>③ 職員会の内容について（7月：認知症ケア）</li> <li>④ 年間計画見直し</li> <li>⑤ 今後のいなけん開催方法と内容について</li> <li>⑥ その他</li> </ul>
令和3年7月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各資格取得に関する情報についての進捗状況確認</li> <li>② 新人職員の必要な技術項目の検討</li> <li>③ 今後のいなけん開催方法と研修内容について</li> </ul>
令和3年8月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各資格取得に関する情報についての修正部分の確認</li> <li>② 新人職員（介護・看護）の技術チェック表作成進捗状況確認</li> <li>③ 今後のいなけん開催方法と内容について</li> <li>④ その他</li> </ul>
令和3年10月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各資格取得に関する情報について、各フロアに配布完了の件報告。</li> <li>② 新人職員に必要な技術チェックリスト作成状況について</li> <li>③ 今後のいなけん開催方法について <ul style="list-style-type: none"> <li>1) いなけん新聞について</li> <li>2) 12月の令和3年度入職者への研修内容について</li> </ul> </li> <li>④ その他（いなけん報告書印鑑欄の変更について）</li> </ul>
令和3年10月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 新人職員（介護・看護）の必要な技術項目の進捗状況確認。</li> <li>2. 今後のいなけん開催方法と内容について</li> <li>3. その他</li> </ul>
令和3年11月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 新人職員（介護・看護）向け技術チェックリスト作成進捗状況確認。</li> <li>2. 今後のいなけん開催方法と内容について</li> <li>3. その他</li> </ul>

令和3年12月27日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新人職員（介護・看護）向け技術チェックリスト作成進捗状況確認</li> <li>2. 今後のいなけん開催方法と内容について</li> <li>3. その他</li> </ol>
令和4年1月	コロナ感染症クラスター発生の為に実施できず。
令和4年2月	コロナ感染症クラスター発生の為に実施できず。
令和4年3月25日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新人職員（介護・看護）向け技術チェックリスト作成進捗状況確認</li> <li>2. 今後のいなけん開催方法と内容について</li> <li>3. その他 ケア基準書作成について</li> </ol>

### ■委員長所見

令和3年度の委員会活動では、コロナ禍による外部の研修の中止や延期が目立つと同時に、施設内での研修開催についても3密を回避しつつどのように行う事がよいか検討してきた。

介護施設で取得できる資格について概要をまとめ、各介護職員のいるフロアへ配布し、リーダーよりフロア会議にて周知して頂くようお願いした。

下半期の活動は、コロナクラスター発生し、計画的に進まなかった。R3年度新入職者の為の实地研修は中止とし、認知症に関する研修を新聞形式で発刊した「ことはじめ新聞」も6回の予定を3回で終了した。ことはじめ新聞の実施は認知症の全体的な基本知識を確認するための研修にはなったと思われるが、研修について振り返る方法が必要であったと考えられる。閲覧確認の用紙の提出も回が進むごとに提出が遅れており、新聞形式では単発で終了の企画は良いが、継続した研修が必要なものになるとモチベーションが保てず続かない様子が伺えた。今後は新聞形式で行う場合は単発の企画が良いと考えられる為今後の研修企画の参考にしていきたい。

電話対応の研修については、コロナ禍で集合研修が難しい為、よく使う部分の項目を抽出し、簡易マニュアルを作成した。簡易マニュアルは令和4年度に各部署に配布する予定。

1年を通して新人職員向けの技術チェックリスト作成に取り組んだ。1年で完成とはいかなかったが令和4年度上半期で完成させ、使用方法を考えしようにしていきたい。また技術チェックリストは使用してみて不足の点はさらにブラッシュアップして良いものにしていきたい。1年間の取り組みで内部研修に取り組み、技術チェックリスト作成に取り組むなど少しずつ体制構築と学びの機会の確保に取り組んだ。令和4年度は新人職員・現職員のフォローアップ研修構築の為に研修内容を考えていきたい。また、いなけん実施方法を新聞形式・動画作成・ズームなどを使用するなど様々な方法で企画を考えていきたい。

## 九 施設物品管理委員会

開催日	要点
令和3年4月9日	委員長選出 役割分担
5月15日	年間活動計画として 粗大ゴミ搬出、外倉庫の書庫整理、 非常物品倉庫の在庫確認、入れ替えなど
6月19日 22日	非常物品倉庫の入れ替え 粗大ゴミ搬出
7月17日	制服注文について 外倉庫の書庫整理について
8月9日 31日	非常用物品（おむつ）の入れ替え 外倉庫の書庫整理
9月18日	制服注文取りまとめ 粗大ゴミ搬出の日程について
10月16日	粗大ゴミ搬出について
11月20日	職場内研修について 5S活動+1S（節約）活動を推奨
12月11日	車いすの点検と確認 管理表の更新
令和4年1月15日	ケア基準書の見直しについて

2月19日	新型コロナクラスターの為、委員会延期
3月19日	非常用物品」の在庫確認

#### ■委員長所見

新型コロナ感染によるクラスターにより、非常物品の重要性と改善点など改めて再確認した。職員の非常食の準備や、必要なものがどこにあるのかを通知するなど課題が見えたので来年度の活動に活かしたい。

## 十 地域交流委員会

開催日	要点
令和3年 4月 22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長・副委員長選出</li> <li>・年間計画（案）</li> <li>* コロナ禍で計画案の活動が可能かを総務に確認</li> </ul>
5月 20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動内容の確認</li> <li>・年間計画（案）の見直し</li> <li>* コロナ禍の状況を把握しながらやれる内容を検討</li> </ul>
6月 17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動内容の確認</li> <li>・いなわしろホームふれあい事業の協力要請内容の確認</li> <li>・サロンの協力検討</li> <li>・共有部分の窓ふき</li> </ul>
7月 29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動内容の確認</li> <li>・いなわしろホームふれあい事業が中止</li> <li>・委員会主催での実技参加型人材育成研修の指示確認</li> <li>・正面玄関周辺の草むしり</li> </ul>
8月 29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動内容の確認</li> <li>・実技参加型人材育成研修のテーマ</li> </ul>

9月 9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動内容の確認</li> <li>*利用者の方に楽しんで頂くレクリエーション</li> <li>・フロア毎で人気のあるレクについて</li> <li>・役割分担</li> <li>・新副委員長選出</li> </ul>
令和3年 10月 7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎参加型人材育成研修：利用者の方に楽しんで頂くレクリエーション</li> <li>○配布資料について</li> <li>○伝達方法について</li> </ul>
11月 18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎参加型人材育成研修：利用者の方に楽しんで頂くレクリエーション</li> <li>○各フロア伝達経過報告</li> <li>フロア会議にて伝達：ななかま、さくら なでしこ 事務室 医務室</li> <li>個別伝達：よもぎ あじさい、ひまわり</li> <li>・12月からの委員会活動の確認</li> <li>・紙芝居の貸出（リハビリ室にて貸出簿を作成）</li> </ul>
12月 16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子清掃 (よもぎフロア車椅子対象)</li> </ul>
	1月・2月はコロナ感染予防の為、活動を中止。
3月 22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度反省</li> <li>・次年度計画案</li> </ul>
令和3年 10月 7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎参加型人材育成研修：利用者の方に楽しんで頂くレクリエーション</li> <li>○配布資料について</li> <li>○伝達方法について</li> </ul>

#### ■委員長所見

・委員会で活動計画を立てていた外部との地域交流の活動はコロナ感染症の為、全く行えなかった。

・紙芝居の管理方法を工夫し貸し出し方法を定め多くの利用者に読み聞かせを行うことが出来たり、窓ふき、草むしり、車椅子清掃を行い環境美化に努めることが出来たりと施設内では充実した活動が出来た。

## 十一 人権擁護・虐待防止委員会

開催日	要点
4. 21	委員長、副委員長の選出。
5. 22	虐待についての勉強会を行う。7月にプライバシーについての研修会を企画する。
6. 18	虐待防止のための指針の策定を検討。7月の職員会にて研修会を行う事とし、資料を作成する。
7. 12	7月職員会にてプライバシーについて資料をまとめる。他の企画として、虐待の芽チェックリストの活用、虐待防止指針策定、虐待防止のためのマニュアル、新任研修向けの資料作成を検討。
8. 10	7月職員会の反省を行う。引き続き、指針の策定やマニュアルの作成を行う。人権擁護。虐待防止の研修に参加することを検討する。
9. 14	虐待防止の指針を作成。次にマニュアル作成を重点的に行う。動画配信による外部研修に参加予定。
10. 14	虐待発見通報に関するマニュアルを作成検討。虐待防止の指針について見直しを随時行う。動画配信による外部研修に参加。来月勉強会を開く。
11. 18	動画配信の研修について、委員で勉強会を行う。
12. 16	全職員での動画配信の視聴を行い、復命書の報告を行う。ケア基準書の見直しをこれから行う。
1. 20	虐待防止指針、虐待防止マニュアルについて完成報告する。職員に向けた虐待の芽チェックリストを作成する事とする。引き続きケア基準書の改定を行う。

3.17	虐待防止指針を策定する。虐待の芽チェックリストを作成。ケア基準書について見直しを行った。
------	--

### ■委員長所見

今年度から、人権擁護・虐待防止委員会を立ち上げる。以前から他委員会にて虐待防止について議論していたが、独立して委員会を立ち上げることとなった。虐待だけでなく、人権擁護という幅広い概念で物事を捉える必要があり、ケアを行う上で、人権侵害を行っていないかを振り返りながら人権侵害行為を未然に防止、対処していく活動に努めていく。

令和3年度上半期は、法人としての虐待防止のための指針の策定、虐待発生時の初期対応マニュアルの作成等、体制作りを重点的に行った。7月に職員向けに研修を行う。これからも職員に対して、研修をする必要があり、定期的に研修を企画していく。

令和3年度は、虐待防止指針の策定やマニュアルの作成、虐待の芽チェックリスト等の作成を行った。動画配信の研修を全職員が視聴し、職員全体のレベルアップにも繋がったと思う。来年度からは職員への内部研修を通して、人権擁護、虐待防止を周知徹底し、虐待を始めとした利用者の不利益が起こらないよう努めていく。

## 十二 防災委員会

開催日	要点
R3. 4. 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長選任、</li> <li>・重要項目の決定</li> </ul>
R3. 5. 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放送のみの、通報訓練実施</li> <li>・職員会発表内容検討</li> </ul>
R3. 6. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施</li> <li>・職員会での窒息時の対応を実施</li> <li>・総合防災訓練の計画(延期)</li> </ul>
R3. 7. 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施</li> <li>・災害対策の作成</li> <li>・各フロアで窒息時の実技の実施</li> </ul>
R3. 8. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施</li> <li>・総合防災訓練の計画</li> </ul>
R3. 9. 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合防災訓練の実施</li> <li>・重要事項の検討</li> </ul>
R3. 10. 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービスのお風呂場火災想定での避難訓練</li> <li>・避難訓練の反省</li> <li>・AED講習検討(いなけん)</li> </ul>
R3. 11. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一階浸水想定での避難訓練実施</li> <li>・避難訓練の反省</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自衛消防訓練通知書作成 &amp; 消防署に提出</li> </ul>
R3. 12. 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 磐梯山噴火想定で避難訓練実施</li> </ul>
R3. 12. 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難訓練の反省</li> <li>・ その他、検討事項</li> </ul>
R4. 1.	コロナウイルス感染拡大の為実施できず。
R4. 2.	コロナウイルス感染拡大の為実施できず。
R4. 3. 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震での避難訓練実施</li> <li>・ 避難訓練の反省</li> <li>・ 1年間の反省</li> <li>・ 来年度の検討事項</li> </ul>

#### ■ 委員長所見

総合防災訓練を9月に実施し、初期消火の重要性や消火器の使い方等を教えて頂きとても勉強になった。

新型コロナウイルス感染症が蔓延し1月、2月委員会活動や避難訓練は出来ず。

外部から講師を呼びAED講習の予定も未開催。

来年度も、地震や火事や災害などに備えていざ何かあった際に、すぐ行動できるように訓練などを行っていく。